

表 彰 事 業

表彰年度	第1回（昭和63年度）
被表彰者名	石井正茂様（山武郡松尾町 現 山武市）
功績の概要	千葉県林業研究会員として林業経営の向上、技術の近代化に努めるとともに、計画的な林業施業を実施し、大径木生産の山林経営を目標とし山武林業の伝統を継承しながら地域林業活性化のため貢献した。

表彰年度	第1回（昭和63年度）
被表彰者名	沢豊吉様（夷隅郡大多喜町）
功績の概要	40年余に亘り製材作業一筋に従事し、卓越した技能を保持し後進の指導に尽くすとともに、千葉県優良木材展示会等において林野庁長官賞はじめ数多くの最優秀賞製品の製材工として優良県産材生産に努め林材業振興のため貢献した。

表彰年度	第2回（平成元年度）
被表彰者名	金巻和夫様（市原市）
功績の概要	里見村森林組合に昭和36年12月に就職し、合併により市原市森林組合に引き続き勤務され、30年余の森林組合の製材工として県産材生産の技術向上のため研鑽努力し、組合の活性化のため貢献した。

表彰年度	第2回（平成元年度）
被表彰者名	加瀬忠男様（香取郡多古町）
功績の概要	間伐の必要性を自らの実践を通じて広める一方、香取郡市森林組合長として間伐の共販施設を設置する等、林業の活性化のため優れた指導力を発揮し地域林業振興に貢献した。

表彰年度	第2回（平成元年度）
被表彰者名	竹内平一郎様（市川市）
功績の概要	都市地域にあって一貫して緑化の啓蒙、普及に努める一方、都市林保全のための多角的利用を目的としたレクリエーションの施設を開設し、地域住民と協調する活動について実践した。

表彰年度	第3回（平成2年度）
被表彰者名	君塚善利様（夷隅郡大多喜町）
功績の概要	本県の竹文化振興のため尽力され筍の栽培技術においても、自己所有竹林において20数年に亘り研究実践を行い独創的アイデアにより得た技術を地域の生産者に普及啓蒙活動に貢献した。

表彰年度	第3回（平成2年度）
被表彰者名	富津ライオンズクラブ 代表 福原 敏夫 様（富津市）
功績の概要	創立以来25年余に亘り公共施設を中心に植樹及び管理の実践活動を実施し緑化の啓蒙普及に貢献した。

表彰年度	第4回（平成3年度）
被表彰者名	穴 倉 充 様（山武郡山武町 現 山武市）
功績の概要	40年余に亘り立木の伐採業務に携り、特に超大径木の伐採について山武林業地帯に伝わる伝統的技術を伝承し、保持してきた技能は地区内はもとより広く林家の間で高く評価されており、林業振興のため大きく貢献した。

表彰年度	第4回（平成3年度）
被表彰者名	長 谷 川 熊 吉 様（君津市）
功績の概要	木炭の利用価値が見直される中であって、「久留里炭」を銘柄として復活させるなど、木炭の生産普及、後継者の育成に努めた。

表彰年度	第4回（平成3年度）
被表彰者名	相 川 春 夫 様（君津市）
功績の概要	33年余に亘り森林組合の模範職員として勤務し、主に林産活動事業を担当し地域森林育成強化のため貢献した。

表彰年度	第5回（平成4年度）
被表彰者名	岩 瀬 喜 美 雄 様（夷隅郡大多喜町）
功績の概要	40年余に亘り地元水産加工業へナマリブシ製造業に不可欠な燃料資材の供給の連携を深め、広葉樹の利用拡大とその振興に貢献した。

表彰年度	第6回（平成5年度）
被表彰者名	池 野 直 様（山武郡山武町 現 山武市）
功績の概要	30年余にわたり山武杉の育林技術の推進に努め、特に大径木の独特な枝打ちの技術は高く評価され模範的な山武林業の施業管理に努めた。

表彰年度	第6回（平成5年度）
被表彰者名	睦沢町妙楽寺林業振興会 様（長生郡睦沢町）
功績の概要	地域の森林の保全と管理を行うため妙楽寺林業振興会(53名)を設立し、森林の育成管理の共同作業、研修会、育林コンクール等を実施した。

表彰年度	第6回（平成5年度）
被表彰者名	千葉県林業研究会 夷隅支部 支部長高旨 達郎 様（勝浦市）
功績の概要	林業の担い手として技術講習会の実施、子供たちへの森林・木材に対するPR、市農林祭に参加し特用林産物の普及活動に努めた。

表彰年度	第6回（平成5年度）
被表彰者名	中 條 平 治 様（市原市）
功績の概要	35年間、市原市森林組合にあって地域林業の普及、指導事業・利用事業を担当し林材一体の推進に尽力し、組合の発展に寄与した。

表彰年度	第7回（平成6年度）
被表彰者名	吉 井 久 麿 様（山武郡山武町 現 山武市）
功績の概要	20年間勤めた民間会社を退職し、自家山林の造成、保全管理に取り組むほか、教育の森の指定に同意するなど森林・林業活動に取り組み、地域林業の振興の模範である。

表彰年度	第7回（平成6年度）
被表彰者名	小 澤 正 明 様（安房郡富山町 現 南房総市）
功績の概要	富山町役場職員として長年に亘り地域林業の振興に尽力し、退職後は共有財産管理委員会役員として、県分収林の管理に貢献した。

表彰年度	第8回（平成7年度）
被表彰者名	吉 田 利 美 様（千葉市花見川区）
功績の概要	都市近郊の千葉市若葉区にある荒廃した松林を買収し、スギ林に改植を行い、林業の専門図書により勉強しながら家族ぐるみで健全な美林に育成した。

表彰年度	第8回（平成7年度）
被表彰者名	井 口 富 美 夫 様（東金市）
功績の概要	山武郡市森林組合の理事、副組合長として長年に亘り組合の運営に当たるほか、森林施業に深い識見を持ち林家の保育作業の技術指導を行った。

表彰年度	第8回（平成7年度）
被表彰者名	（株）川村理研グリーンビジネス 担当部長 山口 充 様（佐倉市）
功績の概要	美術館所有の森林について、適切な密度管理、林床管理により、アメニティー豊かな森林空間造りを行うとともに来館者に憩いの場として解放し、自然環境や緑の保全に関する啓蒙を行った。

表彰年度	第8回（平成7年度）
被表彰者名	千葉県林業研究会 安房支部 支部長 白熊 憲一 様（鴨川市）
功績の概要	昭和40年4月設立以来、林業後継者の育成のため親子教室、林業先進地視察など林業再生のため技術の研鑽に努めてきた。

表彰年度	第9回（平成8年度）
被表彰者名	岩田 和久 様（君津市）
功績の概要	自家所有の間伐期の遅れた森林に作業道を開設し、高性能林業機械を導入するなどして、健全な森林によみがえらせる努力をする一方、「地域の林業を語る会」で林家の規範として活躍した。

表彰年度	第9回（平成8年度）
被表彰者名	斉藤 茂勝 様（山武郡山武町 現 山武市）
功績の概要	44年余に亘り数少ない林業技術者として山武スギ大径木の伐採、枝打ち作業の卓越した技術者として県内外において広く活躍した。

表彰年度	第9回（平成8年度）
被表彰者名	高旨 達郎 様（勝浦市）
功績の概要	短期収入源である椎茸栽培と長期収入源である木材生産を組み合わせ、更に農業を加えた複合経営を実践した。

表彰年度	第9回（平成8年度）
被表彰者名	房州しいたけ組合協議会 代表 八代 利夫 様（鴨川市）
功績の概要	昭和56年2月に設立（35名）し、安房地域に代表されるマテバシイの有効利用を図り特用林産物振興のため、しいたけ原木としてクヌギ、コナラに代わる利用を進めた。

表彰年度	第10回（平成9年度）
被表彰者名	鈴木 耕一 様（君津市）
功績の概要	平成4年から近隣の同士と枝打ち、間伐の技術を生かした作業班を組織し、森林の整備作業を行うほか、都市住民に炭窯を提供するなど森林の活性化に努めた。

表彰年度	第10回（平成9年度）
被表彰者名	小沢 波吉 様（安房郡丸山町 現 南房総市）
功績の概要	卓越した技術を有する製材工として、国産材生産に活躍し、優良木材展示会を始めとする各種の展示会において優秀な成績を収めた。

表彰年度	第10回（平成9年度）
被表彰者名	入口 昇 様（夷隅郡大多喜町）
功績の概要	昭和48年サラリーマン生活から一転し、椎茸栽培の先進地の大多喜町で25年に亘り経営の改善に努め、品質・生産の安定した事業を行い、後進の指導に尽くした。

表彰年度	第10回（平成9年度）
被表彰者名	大塚 八郎 様（富津市）
功績の概要	自然志向のサラリーマン生活から椎茸生産技術を早期に習得し、各種大会でめざましい成績をあげるほか、養護学校生徒に椎茸栽培の体験指導を行い広葉樹の利用開発に努めた。

表彰年度	第11回（平成10年度）
被表彰者名	秋田 治宣 様（市原市）
功績の概要	25歳から30年余に亘り、森林施業計画に基づき林業の機械化、作業道の整備を推進し地域における森林経営の模範となった。

表彰年度	第11回（平成10年度）
被表彰者名	金親 博栄 様（千葉市若葉区）
功績の概要	平成2年4月、都市住民のボランティアの協力を得て「谷当クラブ」を結成し、森林の下草刈りや倒木の整理を定期的に行うほか、自らの森林を教育の森として地域の住民に開放し林業の活性化を図った。

表彰年度	第11回（平成10年度）
被表彰者名	黒川 義雄 様（勝浦市）
功績の概要	昭和30年4月から地域の造林事業に従事し、特に国定公園区域内の松くい虫被害木の伐倒駆除作業を請負い森林の整備に貢献した。

表彰年度	第11回（平成10年度）
被表彰者名	末吉 一威 様（勝浦市）
功績の概要	平成4年3月、「天然絞丸太研究会」（24名）を立ち上げ、枝打ち・間伐技術を駆使して優良材の生産に努め、地域林業の活性化に尽力した。

表彰年度	第11回（平成10年度）
被表彰者名	山本 惣五郎 様（夷隅郡大多喜町）
功績の概要	54年余に亘る炭焼きの生産技術を生かし、竹炭や木炭を土壤改良材として使うことを普及するとともに地域資源の活用にも努めた。

表彰年度	第12回(平成11年度)
被表彰者名	大久保哲也様(市原市)
功績の概要	昭和56年4月林業後継者指導林家に認定され、20年余に亘り県林業指導員と連携し保育技術の普及啓発に努めるほか、林地監視員として監視業務に取り組んだ。

表彰年度	第12回(平成11年度)
被表彰者名	伊藤規彦様(市原市)
功績の概要	自ら所有する山林の模範経営の地域リーダーとしてのほか、神社有林、共有林の経営管理に努め地域の林業振興に貢献した。

表彰年度	第12回(平成11年度)
被表彰者名	小高弘光様(夷隅郡夷隅町 現 いすみ市)
功績の概要	20年間、森林組合役員として自ら所有する森林の整備に努め、模範林経営を行っているほか、指導林家として地域の森林施業の推進に貢献した。

表彰年度	第12回(平成11年度)
被表彰者名	末吉一雄様(勝浦市)
功績の概要	自ら培った育林技術を生かし、地区の林家から枝打ち・間伐を受託し森林整備や技術の普及を行ったほか、森林保全巡視員として活躍した。

表彰年度	第12回(平成11年度)
被表彰者名	足城忠夫様(君津市)
功績の概要	昭和31年4月から森林経営に着手し、無節材の優良柱材を経営目標として濃密な枝打ち、間伐を実施し、地域の模範となる森林経営を行ったほか、森林保全巡視員として活躍した。

表彰年度	第13回(平成12年度)
被表彰者名	浅川浩様(千葉市若葉区)
功績の概要	自ら所有する山林において優良柱材、大径木を目標に省力化、低コスト化を図るため林業機械の導入を進め、一方で教育の森として設定を受け学校教育の場として提供した。

表彰年度	第13回（平成12年度）
被表彰者名	片岡 誉 様（長生郡長南町）
功績の概要	自ら所有する山林を複層林化造成を進め優良材の生産を目標とするほか、林床栽培としてシキミを栽培し、地区の指導者として活躍した。

表彰年度	第13回（平成12年度）
被表彰者名	白鳥 一明 様（勝浦市）
功績の概要	共有林の代表者として、枝打ち、間伐等の作業を行い、森林資源の充実に努めるなど林業教室の体験指導を行った。

表彰年度	第13回（平成12年度）
被表彰者名	本吉 久 様（夷隅郡大原町 現 いすみ市）
功績の概要	森林組合がない地域にあって、指導体制が不備であるので、指導林家として森林作業（森林機能強化対策事業）の取りまとめや技術指導を行った。

表彰年度	第14回（平成13年度）
被表彰者名	太田 黒健資 様（佐倉市）
功績の概要	社有林を教育の森として活用することを社長へ進言し、認定後は森林学習の場として、親子の森づくり教室など森林学習の指導を行った。

表彰年度	第14回（平成13年度）
被表彰者名	石川 順一 様（木更津市）
功績の概要	40年余に亘り木材業の後継者として優良材の生産に努め、適正な流通に尽力したほか森林保全巡視員として活躍した。

表彰年度	第14回（平成13年度）
被表彰者名	江沢 栄一 様（夷隅郡大多喜町）
功績の概要	共有林の保育管理作業責任者として共有林の経営目標を優良柱材・大径木の生産とし林業機械の導入を図り、森林作業の合理化に努めた。

表彰年度	第14回（平成13年度）
被表彰者名	八代 利之 様（安房郡丸山町 現 南房総市）
功績の概要	自ら所有する森林の枝打ち・間伐作業を積極的に行い、優良材の生産に努める一方、教育の森の認定も受け、都市と農村との交流を積極的に行った。

表彰年度	第14回(平成13年度)
被表彰者名	林業女性グループふきのとう代表 関 孝子 様(夷隅郡大多喜町)
功績の概要	県下初の林業女性グループ(7名)で女性の視点から森林、林業経営活動(他の林業研究会との交流など。)等に参加し、事業を实践した。

表彰年度	第15回(平成14年度)
被表彰者名	千葉県林業研究会千葉支部 支部長 橋本佐久 様(千葉市緑区)
功績の概要	昭和40年に結成(18名)されて、都市住民との交流を目的に教育の森、林業体験、自然観察会、里山寄席などの活動を行い、都市化の進む地域の森林の活用を進めたほか特用林産物の生産振興を行った。

表彰年度	第15回(平成14年度)
被表彰者名	安房林友会 会長 忍 足 正 彦 様(館山市)
功績の概要	昭和37年4月(16名)に設立し、林材業の発展を目的として定例研修、情報交換、他団体との交流、イベントの開催等を積極的に行うほか地域における「木の日」を設定するなどして、木材業界の発展に寄与した。

表彰年度	第15回(平成14年度)
被表彰者名	小 茶 昌 行 様(市原市)
功績の概要	昭和49年3月から森林組合職員として、市原市生活環境保全林整備事業等を担当し、指導力が優れ組合の幹部に抜擢され林業経営の向上に努めた。

表彰年度	第15回(平成14年度)
被表彰者名	石 井 勝 美 様(成田市)
功績の概要	森林組合理事、指導林家として林業の技術指導、教育の森、親子林業教室を行うとともに全国林業後継者大会において印旛郡を代表し活動報告を行った。

表彰年度	第15回(平成14年度)
被表彰者名	秋 山 茂 樹 様(香取郡多古町)
功績の概要	香取郡市の森林組合長として、組合の育成強化、組合活動の指導事業・利用事業に努めたほか、緑のボランティア組織と一体となって新たな森林の施業のあり方を進めた。

表彰年度	第15回(平成14年度)
被表彰者名	柴崎 量治 様(夷隅郡夷隅町 現 いすみ市)
功績の概要	県技術講習会等に積極的に参加し新しい技術を習得し、自らの森林や共有林の保育管理を施業体系に取り入れて、地域林業の向上に貢献した。

表彰年度	第16回(平成15年度)
被表彰者名	中村 東雄 様(勝浦市)
功績の概要	優良大径木の生産を目指し、積極的に間伐作業の研修会に参加し、その技術を取り入れて普及指導協力員として後継者育成対策に協力したほか、小中学校の炭焼き教室などを行った。

表彰年度	第16回(平成15年度)
被表彰者名	土屋 菊治 様(船橋市)
功績の概要	清掃業務から発生する汚水の浄化に、スギを中心とした木炭の製造温度と汚染物質の吸着の関係を調査し、併せて県内河川の浄化試験を行い、サンプスギの溝腐被害木を利用した木炭を製造し、森林整備に貢献した。

表彰年度	第17回(平成16年度)
被表彰者名	山口 浩司 様(袖ヶ浦市)
功績の概要	千葉県木材市場協同組合の事業部素材課に就職し、20年余に亘り素材の集荷・販売の拡充に努力し、木材流通機構の改善のため秩序ある木材の安定供給と価格の適正化に努めた。

表彰年度	第18回(平成17年度)
被表彰者名	相澤 節義 様(安房郡和田町 現 南房総市)
功績の概要	北三原森林組合へ就職し、平成17年1月代表理事組合長を退任するまで53年余の長きに亘り、森林組合運営に貢献した。特に受託造林による活力ある森林の造成に努めて林材業振興に寄与した。

表彰年度	第18回(平成17年度)
被表彰者名	特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター 理事長 川本 泉美 様(千葉市緑区)
功績の概要	平成13年6月に設立(120名)され、千葉市緑区内の子供を対象に、「教育の森」で森林整備や森林体験(造林・炭焼きなど。)を行い、森林に対する関心や理解を深め成果を挙げた。

表彰年度	第19回（平成18年度）
被表彰者名	ふるさとの森づくりの会 会長 村田 武子 様（千葉市若葉区）
功績の概要	平成17年9月に設立（155名）され、「教育の森」を活動拠点として、木工施設の整備、「本物の木」を目指したスポットによるカシ、シイ等常緑樹の育苗を行っているほか各地の植樹祭へ参加するなど積極的な活動を行った。

表彰年度	第20回（平成19年度）
被表彰者名	石 野 正 夫 様（君津市）
功績の概要	上総町森林組合理事に就任以来、平成18年千葉県森林組合代表理事副組合長を歴任、37年余の長きに亘り、森林組合の運営に貢献した。特に森林施業計画・整備の健全な推進を図り林業の発展に尽力した

表彰年度	第20回（平成19年度）
被表彰者名	小 安 司 様（いすみ市）
功績の概要	千葉県木材市場協同組合の事業部製品課に就職し、33年余に亘り、木材流通機構としての秩序ある木材の安定供給と価格の適正化のため尽力し、特に業界の厳しい中、公平なる市場運営を果し林材一体の振興のため貢献した。

表彰年度	第20回（平成19年度）
被表彰者名	中 村 初 広 様（茂原市）
功績の概要	千葉県木材市場協同組合の事業部製品課に就職し、29年余に亘り、出荷組合の組織強化及び安定した買方体制の確立など、組合事業の健全な発展と木材流通機構としての公平な役割を果し林材一体の振興のため貢献した。

表彰年度	第20回（平成19年度）
被表彰者名	須 原 司 様（木更津市）
功績の概要	千葉県木材市場協同組合事業部製品課に就職し、29年余に亘り、特に間伐材の利用促進のため小径木の安定供給と価格の適正化のため尽力し、また、森林所有者へ間伐の指導を行い、林材一体の振興に貢献した。

表彰年度	第22回（平成21年度）
被表彰者名	市原米沢の森を考える会 代表 鶴岡 清次 様（市原市）
功績の概要	平成16年4月設立（35名）し、「米沢の森」の森林整備活動に取り組み、除間伐の仕方や作業用機械の取扱いの指導など、里山整備活動も行っている。

表彰年度	第22回（平成21年度）
被表彰者名	特定非営利活動法人 ちば森づくりの会 会長 坂本 彌 様（千葉市）
功績の概要	平成17年1月設立（74名）し、荒廃する里山の機能回復を目指して、森林の整備及びその整備で発生した木材の有効活用を図る活動を行っている。

表彰年度	第24回（平成23年度）
被表彰者名	猪野 源治 様（山武市）
功績の概要	サンプスギの保全に努めている所有林は地域の模範林となっている。生産技術や枝打技術などの伝承に貢献している。

表彰年度	第24回（平成23年度）
被表彰者名	稗田 忠弘 様（東金市）
功績の概要	平成10年に「さんむフォレスト」を設立し、地域材である山武杉を使った伝統工法の家づくりに取り組み、地域循環型の住まいづくり運動に貢献している。

表彰年度	第24回（平成23年度）
被表彰者名	いすみ農協筍生産連絡協議会 会長 大鐘 正己 様（いすみ市）
功績の概要	地域の特産としてタケノコの産地化を図り、より良い竹林管理技術を地域に普及する活動を積極的に続けている。

表彰年度	第25回（平成24年度）
被表彰者名	特定非営利活動法人 みんなの森の村 理事長 小野塚 万人 様（長生郡長柄町）
功績の概要	荒廃した森林の保全と伝統文化の保存に寄与することを目的として本会を設立し、地域の森林整備を積極的に行い地域環境の保全に貢献し、今後の森林整備活動も多いに期待されている。